

FX取引の仕方

各種注文方法など

・注文の種類

FXでは買う注文、売る注文の他に、値段を指定したり、あらかじめ損切り値を設定したりと、様々な注文方法がありますので覚えておきましょう。

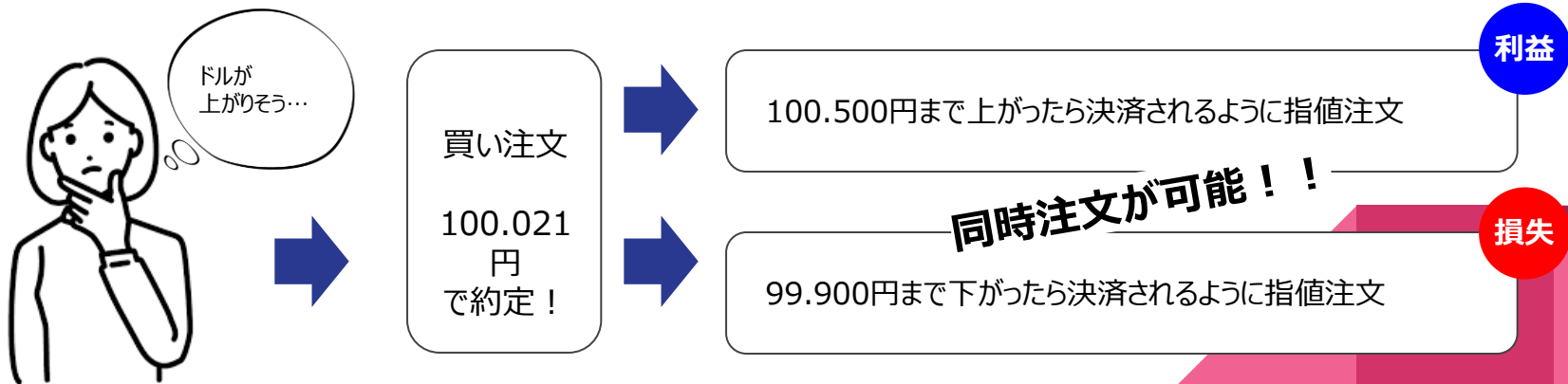
注文種別	内容
成行	現在表示されている価格付近で注文を約定させます。
指値・逆指値	価格を自分で決めて、その価格になったら注文が約定されるように注文します。
IFD	イフダン注文。 新規注文と、既に持っているポジションを決済するのを同時に注文する方法です。
OCO	二つの注文を同時に出し、一つが約定されたらもう一つはキャンセルされる注文方法。
IFD-OCO	新規注文が約定されたら、決済に向けた注文も発注される方法。

・決済注文とロスカット

約定したポジションの、利益や損失を確定するために決済（手仕舞い）するための注文のこと。
決済注文が約定されると、売り買いの差額からスワップポイントが加減され、最終損益が証拠金に反映されます。

決済注文も成行で注文する事も出来ますし、指値で価格を指定する事も出来ます。臨機応変に使い分けるのが好ましいです。

また決済注文は、一度に利益確定と損失確定（ロスカット）の二つの注文を同時に行うことができます。



取引シミュレーション（前提説明）

実際に取引をするにあたり、どのくらいの資金が必要で、どのくらいの損益になるのでしょうか？シミュレーションを行ってみましょう。まずは前提を説明いたします。

前提

- ・運用資金**10万円**
- ・レバレッジ**25倍**
- ・ドル円相場**\$1 = 100円**で、**買い注文**を入れ、約定されたと仮定する

運用スタイル	取得通貨	残金
資金の9割使っちゃおう	\$22,500	10,000円
半分使っちゃおう	\$12,500	50,000円
30%使おう	\$7,500	70,000円
10%だけ使おう	\$2,500	90,000円

取引シミュレーション（利益編）

思惑通り相場が上がり、利益が出たと仮定した場合。

前提

- ・運用資金10万円
- ・レバレッジ25倍
- ・ドル円相場\$1 = 100円で、買い注文を入れ、約定されたと仮定する
- ・その後、**\$1 = 101.000円まで上がった**と仮定する

運用スタイル	所有通貨	損益	損益率	残金
資金の9割使っちゃおう	\$22,500	+22,500円	22.5%	122,500円
半分使っちゃおう	\$12,500	+12,500円	12.5%	112,500円
30%使おう	\$7,500	+7,500円	7.5%	107,500円
10%だけ使おう	\$2,500	+2,500円	2.5%	102,500円

取引シミュレーション（損失編）

思惑に反し相場が下がり、損失が出たと仮定した場合。

前提

- ・運用資金10万円
- ・レバレッジ25倍
- ・ドル円相場\$1 = 100円で、買い注文を入れ、約定されたと仮定する
- ・その後、\$1 = 99.000円まで下がったと仮定する

運用スタイル	所有通貨	損益	損益率	残金
資金の9割使っちゃおう	\$22,500	-22,500円	-22.5%	77,500円
半分使っちゃおう	\$12,500	-12,500円	-12.5%	87,500円
30%使おう	\$7,500	-7,500円	-7.5%	92,500円
10%だけ使おう	\$2,500	-2,500円	-2.5%	97,500円

取引シミュレーション（高額 番外編）

シミュレーションの利益編・損失編で、相場が1円動いた時の利益と損失がどの程度のものになるのかが分かったと思います。

では前提の資金10万円が、100万円だったらどうでしょう？1,000万円では…？

運用資金が高額だった場合のシミュレーションも見てみましょう。

資金以外の前提は全て同じ条件で、スタイルは「9割使っちゃおうスタイル」と仮定します。

自己資金	利益	損失
100万円	+225,000円	-225,000円
1,000万円	+2,250,000円	-2,250,000円



いかがでしょうか？利益も損失も大きく、まさに天国と地獄ですね。

実際取引を行う際は、利益の事だけを考えたり、損失の事だけを考えるのではなく、どちらのケースもよくシミュレーションをした上で、取引に充てる資金の割合などを検討してください。

・強制決済について

自己資金以上に損失が発生してしまったり、証券会社の設定している最低証拠金維持率を下回った際には、決済注文の有無に関わらず、強制的に決済されてしまいます。これはドローダウンと呼ばれることもあります。

きちんと計算を行って決済注文（ロスカット注文）を入れないと、そこに到達する前に強制決済されてしまうことがあります。以下のケースを例として見てみましょう。

スタイル	取得通貨	自己資金	ロスカット注文
9割使っちゃおう	\$1=100円の時に買い \$22,500保有	100,000円	\$1=90円まで 下がったら決済



一見何の問題も無いように見える注文ですが、実は落とし穴があります。
なぜなら、この注文と資金量ですと、90円まで到達する前に自己資金の10万円を下回ってしまうのです。

計算してみます。損失が10万円に達するのは $100,000(\text{円}) \div 22,500(\$) = 4.44 \rightarrow 444\text{pips}$ となります。
つまり100円から444pips下がった値、**95.56円に到達した時点で強制決済となってしまいます。**

・上手な取引をするために

FXを行う上で、上手な取引をするよう心がけましょう。最低限、以下の4点を意識する事が、リスクの回避に役立ちます。

1

レバレッジをチェックして、自分の取引できる取引量（lot数）を把握する。

2

損失が出た場合の許容範囲を再確認し、取引量やロスカットの値を決定する。

3

ロスカットを設定せずに、ポジションを持ったまま放置するのは大変危険です。

4

ロット数、注文方法に間違いがあったら大変な事になりかねません。注文前に、注文内容を再確認する癖を付けましょう。

